

## 「ウェルネス」「日本古来の医療」「日本特有の施術」

ウェルネス、トラディショナル・スタイルを融合させたプログラム

日時：2019年1月25日（金）19時00分～20時00分（受付18：30）

場所：東急プラザ銀座 キリコラウンジ（6F イベントスペース）

参加費：無料

対象：どなたでも参加可能

### 〈プログラム〉

19：00～20：00 パネルディスカッション

20：00～21：00 新年会及び名刺交換会

21：10 閉会

美しく、より美しく、また、より健康であるためには、昔ながらの「食文化」、「日本独自の鍼灸」、親から子へと継承されている「健康法」、「温活」を提唱している方々から、「食」と「美」と「健康」を学んで頂く。

今後ますます加速する超高齢社会に欠かせない「ウェルネス」について、日本でもトップランナーとしてご活躍中の4名のトークセッションで、日本発・世界最先端のウェルネス、ホスピタリティ産業に新しい息吹を差し込む試み。

### ～パネリスト～

・川嶋 朗 医師 医学博士

（近代西洋医学と伝統医療を統合した医療を目指す第一人者）

・仲野彌和 日本鍼灸師会会長、日本鍼灸連盟委員長

（日本式鍼灸医療の国際貢献の第一人者）

・室谷良子 日本フットケア協会師範

（代々継承されている手当「血の道療法」の第一人者）

・佐野憲悟 伊豆食文化公園株式会社社長

（日本伝統食文化を提案する第一人者）

### ～モデレーター～

株式会社インターリテラシー代表取締役 杉山大輔

主催 ワールドウェルネスビューティー（WWB）

運営 （株）オータパブリケーションズ

協賛 一般社団法人宿泊施設関連協会、（株）クレドインターナショナル

医師、医学博士

川嶋朗(かわしま あきら)



東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科 教授

一般財団法人東京医学研究所附属クリニック自然医療部門担当

東京都台東区出身。

少年時代は児童劇団に所属し子役として活躍し、1970年4月11日から1971年4月3日のおよそ1年間、NHK連続ドラマ『へこたれんぞ』で主役も務めていた。

北海道大学医学部在籍中に東洋医学研究会創設・主宰。

<来歴>

北海道大学 医学部医学科 卒業後、東京女子医科大学 第4内科 入局。腎臓の蛋白代謝などの研究に従事。

ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院(Harvard Medical School & Massachusetts General Hospital) 留学。増殖因子の転写調節の研究などに従事。

'97年～'98年東京女子医科大学附属東洋医学研究所にて研修。

'98年東京女子医科大学オルタナティブ・メディスン研究会を創設・事務局幹事。

'03年6月より東京女子医科大学附属青山自然医療研究所クリニック所長(兼任)。

'14年より東京有明医療大学 保健医療学部鍼灸学科 教授。

近代西洋医学と伝統医療を統合した医療を目指す、第一人者。

佐野憲悟(さの けいご)

伊豆食文化公園株式会社社長

伊豆の自社農場産を中心とした旬の作物から作る季節の味覚や旬の素材が持つ機能性を大切に、日本伝統食である醗酵食品、自然食品を生産し、日本の伝統的な無添加自然食品をつかって「食育」を提言・提案をしている。

日本フットケア協会師範  
室谷良子（むろたにりょうこ）



父方・母方に代々継承されてきた血流の滞りを手当する方法「血の道療法」を研究・発展させた、フットケア療法を確立。「一日の疲れをその日のうちに取り除き、健康な身体作りをすること」を基本理念に身体の循環を良くするよう、フットケア・ハンドケア・爪のケア・顔のケアなどの手わざの口伝、伝承を行っている。

全国各地の養護学校・看護学校などでの指導を通じ、技術習得者は1500人を超える。

保健・看護・介護に関する研究では、日本統合医療学会などで成果を発表している。

更には、人の動作である「立つ・座る・寝る」をテーマにした座る姿勢を良くするマットや、重力で筋肉が下がりねじれることを緩和する女性の為の下着等、医療機関やメーカーとともに開発も行っている。

監修書・指導書に「ピクチャーブック 爪のケア・手足のケア技術」（看護の科学社）、「からだのスーッと楽になる全身ケア」（メトロポリタンプレス社）など。

#### 血の道療法とは

代々家伝として伝えられてきた父方・母方の健康法により幼少の頃より、父母から健康になるための生き方として養育を受けた、日本フットケア協会師範室谷良子氏によって、現代に伝承されている「血の道療法」は、血液が末端まで滞りなく流れるようにするための手わざ法で、元々は家族のために、手当て法として親から子へ代々連綿と伝えられている健康法であり、療養法であった。

日常生活の中に取り入れられる手で行なうケアや日常生活の工夫等を行なうことにより、血液の流れをよくし、血管を圧迫している筋肉のゆがみやねじれ、緊張などを解消し、体内の温度差をなくすことで、日常的に体調を維持したり、不調を整えたり、病気のつらい症状を緩和する日々の生活を整える知恵の集大成である。

近年、「血の道療法」は主として「冷え」解消の為に、積極的に取り入れられるようになってきており、大学研究室などの専門機関での検証によりその効果が立証されてきている。

#### <出版本>

##### ■冷えを防ぐ30の方法

川嶋朗 監修 室谷良子 指導 宝島社

頭痛、だるさ、脚のむくみ・・・冷えからくる体の不調とは今日でさよなら！

##### ■全身がスーッと楽になる全身

川嶋朗 監修 室谷良子 指導 株式会社メトロポリタンプレス

本書は「秘伝 冷えとり手ワザ77」（理学研プラス刊）を改題・改訂し再発行したものです

日本鍼灸師会会長  
医学博士  
仲野 彌和(なかのひろかず)



日本鍼灸師会会長、日本鍼灸連盟委員長、東京オリンピック組織委員会顧問

昭和 21 年三重県四日市市生まれ。

医学博士（三重大学）、鍼灸師/柔道整復師/米国政府公認カイロプラクティックドクター。

昭和 44 年、東京農業大学卒業。

昭和 46 年、花田学園卒。柔道整復師免許取得。

昭和 47 年、花田学園卒。鍼灸師免許取得。

昭和 51 年、米国カリフォルニア州アキュパンクチャー（鍼）ライセンス取得。

昭和 52 年、米国ロサンゼルスカイロプラクティック大学卒業。

昭和 57 年、社団法人三重県鍼灸師会理事。

平成 1 年、社団法人三重県柔道整復師会理事。

同年、医学博士（三重大学医学部）。平成 6 年、財団法人全国療術研究財団評議員。

平成 14 年、社団法人三重県鍼灸師会会長。

平成 15 年、社団法人日本鍼灸師会常任理事広報局長。

同年、鈴鹿医療科学大学評議員。

平成 16 年、ユマニテク東洋医療専門学校校長。

平成 23 年公益社団法人日本鍼灸師会会長就任、現在に至る。

カイロプラクティックテクニック総覧—原則と方法 翻訳

2017 年 1 月 日本式鍼灸医療の国際貢献&海外展開

後援 日本国政府 外務省 厚生労働省 経済産業省の依頼にて

「医療の向上に貢献する日本鍼灸術」をベトナム・ハノイにて講演

鍼灸医療協力プロジェクトの企画・立案

課題と解決方法と成果予測

現地トレーニングコースのカリキュラム設計

医療免許、医薬事規制等国际協力投資環境の確認

2017 年 7 月 日本式鍼灸医療の国際貢献&海外展開のため、ベトナム国立鍼灸病院

国立ホーチミン市伝統医学病院にてベトナム鍼灸師を指導

株式会社 Conceptasia 代表取締役  
相馬順子



1990年にThe Boston Consulting Group (ボストン・コンサルティング・グループ) にコンサルタントとして入社。アジア進出のトレンドの中、同社香港オフィスにて、多国籍企業のアジア進出に向けた調査、展開支援を行ってきた。

その後1994年に独立し、国内外でコンサルティング会社、調査会社、投資会社を次々に設立。アジア域内の様々な企業の事業拡大をサポートする。また、その頃設立された、アジアの投資ファンドのファンド・レイジングやその運営に携わる。

2002年、スパ産業を事業の柱とする Conceptasia Inc に投資。Suzannen Ng(シンガポール)と Conceptasia 社を香港で共同設立し、世界各地に著名ブランドスパを次々にオープンさせる。さらに2006年には米国のスパファインダー社と合弁でスパ情報サイト“スパファインダー・ジャパン”を設立し、スパの啓蒙化に努める。

現在は、スパを含むウェルネス事業全般にその領域を広げ、温泉の再開発やウェルネス関連製品／施設の企画・運営に携わっている。

2009年と2011年にはスパファインダー・ジャパンとして角川マガジズ社より スパガイドブックを出版。

青山学院大学卒

1997年 フランスのビジネススクール INSEAD にて国際経営ディプロマ CIM 授与、

2007年 コーネル大学 Executive Spa Investment, Development and Management 講座終了 (修了書授与)